

C⁴D システムと IC、HPLC との接続

このアプリケーションノートでは、eDAQ C⁴D (capacitively-coupled contactless conductivity detector: 静電結合型非接触伝導度計) システムを伝導度検出器として IC や HPLC 装置に組み込む方法を紹介します。

はじめに

eDAQ C⁴D システムをイオンクロマトグラフィー(IC) や高性能液体クロマトグラフィー (HPLC) の装置に接続し、非 UV 吸収性を示すアミノ酸や低分子ペプチド*などのイオン性物質の分析に使用されています。

(www.upchurch.com) の下記アダプターとチューブスリーブを使って接続します:

- P-770 ZDV: Microtight PEEK アダプター
- F-185x: グリーンチューブスリーブ(ID 395 μm)
- TSP100375 Polymicro Technologies 社のキャピラリー (長さ 15 cm、360-365 μm OD、100 μm ID)

必要なコネクタ類

外径 360-365 μm のキャピラリーを使って、カラムと ET120 C⁴D とを接続します。カラムにつながっている 1/16" の配管チューブを、Vici 社(www.vici.com) の接続金具 C360RU1PK6 か、Upchurch Scientific 社



Agilent 1050 HPLC



Metrohm IC Basic

* Application of gradient programs for the determination of underivatized amino acids and small peptides in reversed-phase high-performance liquid chromatography with contactless conductivity detection. Pavel Kubáň and Peter C. Hauser, Journal of Chromatography A, 1128 (2006) 97-104